



富士橋(建設中)

かけはし

第185号
2023年5月発行

発行：峡南教育事務所
教育支援スタッフ（地域教育担当）

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



南巨摩合同庁舎

目次:

- 峡南教育事務所長あいさつ 1
- ことぶき勸学院
入学式・開講式
新採用教員辞令交付式 2
- 研究指定校・事業推進校・
協力校紹介 3
地推協・峡南教育事務所
共催講演会のお知らせ
- 峡南教育事務所
スタッフ紹介 4
峡南教育事務所より



新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、様々な対策や制限が緩和されました。私たちの生活も、コロナ以前の状況に戻りつつあります。今年度もよろしく願いします。

令和五年度 峡南教育事務所長 村松章史 あいさつ

最近のニュースでも話題となりました「Chat GPT」(チャット・ジーピーティー)。高度な人工知能技術を活用したプログラムで、人間とコンピュータが「対話」しながら文章を生成したり、人間の質問に回答してくれたり、「人工知能もここまで来たのか」と考えさせられます。一方で、コンピュータが生成した文章なのか、人間が書いた文章なのか見分けることが困難であることなどから、特に教育現場などでは、その活用に慎重な態度を示す方も少なくありません。

人間が書いた文章や発する言葉には、年齢やその時々状況や感情が反映されます。私は、二〇一一年、東日本大震災後の七月、宮城県石巻市で高校の体育館を避難所として生活している小学生に、夏休みの生活や学

習を支援するボランティアに加する機会を得ました。ある日、五年生の児童が「夏休みの宿題の作文を書いたのを見てほしい」と作文を持ってきました。地震と津波の体験を記した彼の文章には「……津波が僕のおじいちゃんのをとっていきまじい……」と書かれていました。同じ事実を書こうとした時、いくつもの表現が考えられますが、その時に抱いた悲しみ、寂しさ、自然の恐ろしさなど、複雑な感情が詰まったこの表現は、「彼だけのもの」であったと思います。



村松章史 所長

「心の豊かさ」を創出していくことが、人間だからこそできることなのではないでしょうか。教育事務所は、学校・家庭・地域社会の連携を基に、時代の要請に応じた取組を進め、学校教育や社会教育が充実していくために指導・助言を行うことを役割としています。とりわけ、保幼・小・中・高と続く子どもたちの教育について、みなさまとのコミュニケーションを基に協働し、課題を解決していくために手を携えたいと思います。事務所内は昨年度末の人事異動により総務スタッフ一名、教育支援スタッフ三名が新メンバーとなりました。感染症対策の変化もあり、より顔の見える関係を大切にしながら取組を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

ことぶき勸学院便り 新年度がスタート

令和五年度入学式

四月一八日(火)にYCC県民文化ホール小ホールにおいて令和五年度「ことぶき勸学院」入学式が開催され、県内全体で一六〇名の新入生を迎えました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため



県全体での式典は中止となり、各教室で開講式・入学式を行うのみとなつてしまいましたが、本年度は県下の一・二年生が一堂に会し、副知事をはじめとする多数の来賓をお迎えする中で実施することができました。入学に際し、降

旗学院長からは、「師恩友益 大きに居り」(人として徳を身につけ才能を開花させるには恩師の御恩や良友からの益が多い)という吉田松陰の言葉が贈られました。



また入学式後には、ラリードライブである篠塚建次郎さんを講師に迎え、「生涯現役」という演題で講演会が行われました。勸学院生と

同世代である篠塚氏の、ラリーにかける情熱や、挑戦することが大切であるといった話に、一同が熱心に耳を傾け、「人生、常に好奇心を持って楽しむこと」という篠塚氏の言葉を胸に、今後の勸学院生活をより有意義なものにしようと、決意を新たに第一歩を踏み出しました。

一年生 開講式

新入生三一名を迎え、開講式が行われました。村松所長より「シニア層であつても学び直す機会は自分から求めていけばたくさんあります。この一年が有意義な時間となることを期待します。」と励ましの言葉が贈られ、新入生代表の山本康恵さんが「出会いを大切にし、絆を深め、仲間と共に楽しみながら学び、生きがいをつくり、社会に貢献する。」と誓いの言葉を述べました。開講式終了後、学級会が行われ学級委員長に阪本俊美さんが決まりました。一年生とは言葉、再入学の生



今村弘樹先生

令和五年度峡南教室担当紹介
今年度から、今村弘樹先生が担当をします。今村先生は、この三月まで身延中学校の校長を務められていました。

徒が多く、学級会における役員選出や係決めもスムーズに進みました。

二年生開講式

一八名が二年生に進級しました。始めに、大芝次長が(村松所長出張のため)、「ことぶき勸学院に集う理由は様々だと思えますが、本学院での活動がみなさまの楽しみとなり、学びの広がりと同時に、人と人のつながりをさらに豊かなものにしていただける機会となることを願っています。」と励ましの言葉を述べ、二年生代表の馬場喜美男さんが「昨年度は、コロナの影響もあり、様々な活動において制限されるが多かった一年でしたが、本年度は勸学院祭や研修旅行等の行事も実施の方向で計画されており非常に楽しみにしています。一年間、常に仲間意識を持って一生懸命勉強し、無事、卒業を迎えられるとともに、卒業後も地域に貢献できる人材となるように、楽しみながら勸学院生活を送りたい。」と決意を述べました。



引き続き説明会、学級会が行われました。説明会では、まず自己紹介が行われ、生徒のみなさまの言葉から勸学院での出会いの素晴らしさを感じる事ができました。学級会では、各係決めを行い、昨年度の係を生かしながら活発な意見交換をし、個々の役割分担を確認しました。学級委員長には、昨年度に引き続き馬場喜美男さんが選出されました。

令和五年度 新採用教職員辞令交付式

四月三日(月)に南巨摩合同庁舎三階大会議室で、小・中学校新採用者の辞令交付式が行われました。新採用教職員八名(教諭六名・養護教諭一名・事務職員一名)を代表して、増穂小学校の金丸未来先生が県教育長代理の村松所長より辞令を交付され、身延中学校の早川智翔先生と市川南小学校事務職員の増田瑞希さんが緊張と希望に満ちた表情で服務の宣誓を行いました。この八名が峡南地域の新しい力として、若さと情熱を持って地域の未来を担う子どもたちの教育に当たることになり、写真のように真のようない笑顔を日々過ごせよう、皆さんよろしくお願いたします。



引き続き説明会、学級会が行われました。説明会では、まず自己紹介が行われ、生徒のみなさまの言葉から勸学院での出会いの素晴らしさを感じる事ができました。学級会では、各係決めを行い、昨年度の係を生かしながら活発な意見交換をし、個々の役割分担を確認しました。学級委員長には、昨年度に引き続き馬場喜美男さんが選出されました。

令和5年度 研究指定校

文部科学省、山梨県教育委員会等の研究指定を受けて教育活動に取り組んでいる管内の小・中・高等学校の事業を紹介します。


	事業名	期間	指定校
継続事業	連携型中高一貫教育実施事業〈県〉 (身延南部地域中高連携推進検討委員会)	H31~	身延中学校 南部中学校 身延高校
	道徳教育研究推進校事業〈国〉	R4~6	富沢小学校
	教科担任制推進事業〈県〉	R4~5	市川小学校 市川東小学校 市川中学校
新規事業	初任者研修授業研修会実習校〈県〉	R5	身延小学校 六郷中学校
	新たな学びの姿に向けた 授業改善推進事業〈県〉	R5~6	緬沢小学校
	がん教育総合支援事業〈国〉	R5	増穂中学校



令和5年度 峡南地域教育推進連絡協議会・峡南教育事務所 共催

講演会のお知らせ

*感染症の状況により中止・延期・オンライン開催等の可能性があります。

<p>【峡南地域異校種連携・子育て学習会】 7月5日(水) 14:40~ 身延町総合文化会館 (ホール) ○講演 「発達障害への理解と支援」 山梨県子どものこころサポートプラザセンター長 山梨大学名誉教授 相原 正男 氏</p>	<p>【峡南地域教育フォーラム】 8月23日(水) 14:00~ 身延町総合文化会館 (ホール) ○講演 「教育DXの広がりと県内の動き」 (仮題) 山梨大学 教育実践総合センター准教授 三井 一希 氏</p>
<p>【峡南地域人権講演会】 11月17日(金) 14:00~ オンライン開催 ○講演 「わたしたちにできること」 ~すべてのセクシュアリティの人が 生きやすい社会のために~ 一般社団法人にじみず 古堂 達也 氏</p>	<p>*学び合いの場を計画しています。 皆さんふるって ご参加ください。 待ってます。</p> 

令和5年度 峡南教育事務所スタッフ紹介

本年度は4人の新しいメンバーを迎えました。「総務・教育支援（地域教育担当・学校教育担当）」のスタッフで峡南地域の教育を支援します。どうぞよろしくお願い致します。

総務スタッフ

名取 武司
三井 徹也[◎]
望月 由美

教職員の給与や旅費、各種手当に關することを担当しています。

所長
村松 章史

次長
大芝 一仁

事務所のすべてを統括する二人です。

教育支援スタッフ（学校教育担当）

木内 寛
笠井 保夫
有泉 満[◎]

学校訪問での指導・助言、教職員の研修・研究会や教育相談に關すること、教科書採択事務の指導・助言、学校保健・給食・安全指導など、学校教育に關わる多くのことを担当しています。

教育支援スタッフ（地域教育担当）

笠井 一朗[◎]
藤巻 信一[◎]

学校や町教育委員会と連携して、地域教育・社会教育・生涯学習の支援をしたり、地域教育情報誌「かけはし」の発行をしたりしています。

アドバンス
ティーチャー

熊谷 正

経験三年以内の教員の資質向上のため、訪問指導を行います。

スクールソーシャルワーカー（SSW）

中野 良男
渡辺 実子

学校訪問、児童生徒・保護者・教職員の支援・相談・情報提供を行っています。

峡南教育事務所より

- ☆ 令和3年度から「峡南地区『地域教育推進活動』に係る関係各機関の施策・事業年間計画一覧」は、「**地域教育推進活動事業一覧**」と名称を変えて、
峡南教育事務のホームページ (<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>) に掲載しています。ご協力いただいた事業所の方々、ありがとうございました。なお、各行事は感染症の状況により延期・中止の場合もありますので、事前にご確認ください。

☆ **情報提供のお願い**

地域教育情報誌「かけはし」は、社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することを目的に発行しています。地域での交流行事や、社会教育・生涯学習に関する取組や行事をご紹介します。今年度もぜひご愛読をお願いします。

TEL 0556-22-8154 FAX 0556-22-8144